

各 位

宮崎ソーラーウェイ「都農第2発電所」が竣工

“太陽光発電の拠点づくり”の基本理念の実現へ向けてメガソーラー発電所が本格稼働

グリーン・インフラ事業のリーディングカンパニーである国際航業グループ（国際航業ホールディングス株式会社 本社：東京都千代田区 代表取締役社長：呉文繡）はこのたび、日向灘の海岸近くを南北に貫くりニアモーターカー宮崎実験線高架上約3.6kmにわたり、太陽光パネル12,520枚を縦列に配置した世界でも類を見ない形状のメガソーラー発電所「都農第2発電所」を完成させました。



写真 宮崎・日向灘海岸沿いを南北に貫くりニアモーターカー宮崎実験線高架上に建設



写真 都農第1発電所での実証を経て、施工性・効率性を追及し「都農第2発電所」を建設

本事業は、宮崎ソーラーフロンティア構想の一環として、2009年4月に宮崎県、都農町および国際航業グループ三者でメガソーラー事業に関するパートナーシップ協定を締結してスタートしました。「都農第2発電所」は、都農第1発電所の実証を踏まえ、2010年9月より建設に着手し、2011年2月に完成、発電を開始しました。「都農第2発電所」の完成により、宮崎県が掲げる「みやざきソーラーフロンティア構想」の基本理念である“製造・発電・活用の三拍子揃った太陽光発電の拠点づくり”の基本理念の実現に向けて本格的に稼働します。

現在、国際航業グループ傘下の国際航業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中原修）では、都農町が推進中のまちづくり構想にも参画し、当発電所で生み出される環境価値をグリーン電力証書化するなど、地域活性化に向けた環境価値の地域利用や環境教育の機会提供などを行っています。

「都農第2発電所」は、単なる電力供給施設としてだけでなく、環境・エネルギー教育の拠点として、また観光資源としても活用するなど、新しい時代の扉を開く、自然エネルギーを核とした未来型まちづくりに貢献していきます。

また、都農第1発電所は2010年4月に発電容量50KWの実証用発電施設として運転を開始しました。細長い形状のリニアモーターカー宮崎実験線ガイドウェイ上にメガソーラー施設を建設する特殊性、海に近いことによる塩分や湿気による影響、高所での作業を安全に効率よく行うための設計施工手法、さらに耐風性が高く高強度で防錆機能が高い素材を使用した架台、使用する太陽光モジュールを立地環境や発電効率などから総合的に判断して選定するためのノウハウなど、ハイパフォーマンスな太陽光発電施設開発を実現するシステム・インテグレーションノウハウを取得しました。

以 上

【お問い合わせ先】

国際航業ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部：鈴木、川幡
TEL：03-3288-5704
e-mail：press@kkc.co.jp URL：http://www.kk-grp.jp/

ご参考**【国際航業グループの概要について】**

創業以来、国内外の社会インフラ整備に貢献してきた国際航業グループは、環境・エネルギー時代の要請に応えるべく、新しい時代に必要とされる社会基盤整備として、空から、人から、環境からの視点にたった「グリーン・インフラ事業」を進めています。

国際航業グループは、再生可能エネルギー導入支援、モニタリング、解析・評価から都市・地域デザインまで、長年培った空間情報コンサルティング技術や高度な分析を可能にするGIS技術を活用するとともに、全国の自治体や企業と築いてきた信頼関係、金融サービス事業者による資金調達力などグループ内リソースをすべて活用し、再生可能エネルギーによる環境と人に優しい未来型まちづくりに向けた取組みを推進しています。

- 【名 称】 国際航業ホールディングス株式会社（持株会社）
- 【上 場 市 場】 東京証券取引所 市場第1部（コード：9234）
- 【本 社 所 在 地】 〒102 - 0085 東京都千代田区六番町 2 番地
- 【資 本 金】 169億3千9百万円
- 【代表取締役社長】 呉 文 繡（うー うえん しょう）
- 【従 業 員 数】 2,034人（連結）
- 【子 会 社 数】 国内子会社 24社、海外子会社 43社

【国際航業グループが進める太陽光発電事業の概要について】

国際航業グループはこれまで、欧州4カ国（ドイツ、スペイン、イタリア、チェコ）において、24カ所、合計56.4メガワット（56,400キロワット）の大規模太陽光発電所の開発と運営を手がけています。

国際航業グループ傘下のGEOSOLグループ（本社：ドイツ）は、メガソーラー発電事業者のパイオニアとして、発電施設の開発から運営ノウハウの提供を行ってきました。国際航業グループは、多様なファイナンスやランニングコストを抑えた運営管理など、これまでに蓄積された技術的ノウハウや開発を実施するための金融ノウハウをもとに、欧州各国への事業拡大をはじめ、日本での事業展開や、アジア諸国への進出など、メガソーラー発電事業のグローバルな展開を目指します。また、大規模駐車場をはじめ、産業用ルーフ・トップなど新規商品開発による事業領域の拡大も目指しています。